

里山体験

桜井市笠の一面に、手づくり工房「木の子村」が維持・管理する小屋と、有機野菜やブルーベリーを栽培する畑がある。ここでは、環境市民ネットワーク天理が、手作り工房「木の子村」と協働で「里山づくり」を手掛け、さまざまなイベントを当該畑および周辺域でおこなっている。当日は10時頃に現地に集合し、昼食を挟んで14時頃まで、自然観察や小屋の前でさまざまな“学び”を体験する企画である。

(1) 春の里山

2011年4月17日、午前中は「木の子村」や隣接する「水源の森」の周辺域で自然観察をおこない、その時に採取した山菜や野草を分別しながら、食べられる山菜と野草を調理し、参加者で試食する体験会をおこなった。参加者は23名だった（下写真）。



2011年4月17日、「木の子村」で春の里山体験を開催。セイヨウタンポポ（左）や、採取した山菜・野草（中）を、昼食時に試食した(右)。

(2) 夏の里山

夏のイベントで好評なのは「ブルーベリー摘み」である（下写真）。食べ放題の企画で、参加していただいた人たちからは大好評を得ている。午前中は周辺域で自然観察をおこない、高原の里山風景を堪能してもらうとともに、恒例の「ブルーベリー摘み」を体験し、摘んだブルーベリーを皆んなで食べた。



2011年8月21日、「木の子村」で夏の里山体験を開催。収穫したブルーベリー（左）と喜ぶ子ども(中)、里山を見守るアマガエル(右)。

また、奈良県が2014年に実施した「平成26年度 奈良県山の日・川の日」「山と森林の月間」に協賛するイベントとして、「木の子村」との協働による「夏の里山体験（ブルーベリー摘み）」を、同年8月31日に同じ会場で実施した。37名が参加した（下写真）。



2014年8月31日、奈良県主催のイベントに協賛して「ブルーベリー摘み」体験を実施した（左）。午前中は自然観察会をおこない（中）、昼食後はブルーベリー摘みを体験した。県内各地から訪れた人たちを、トノサマガエルが快く迎え入れた(右)。

(3) 秋の里山

2010年11月28日、「木の子村」を会場に秋の里山体験を実施した。午前中は周辺の自然観察、そしてお昼は「リサイクルクラブ天理」の人たちがつくった豚汁をおかず^{つぎ}に昼食を挟んで午後は小屋前での「ドングリ遊び」や「蔓籠^{つるかご}づくり」、リースづくり等の体験だった。35名が参加した（下写真）。



2010年11月28日、「木の子村」を会場に秋の里山体験を開催した。

(4) 冬の里山

2014年3月23日、「木の子村」の畑に隣接する林の中で、林産物であるシイタケの種菌をクヌギ等の“ほだ木”（原木）に植え付ける「植菌」作業をおこなった（下写真）。そして昼食では、前年に当該場所で生産されたシイタケを調理して楽しんだ。また、里山周辺で増加する竹林の整備作業も、体験の一つとして実施した。



“ほだ木”にシイタケの種菌を植え付ける「植菌作業」（左）。里山周辺に広がる竹林の整備（中）。
落葉の堆肥を使った『木の子村』での畑づくり（右）。時には天理大学の教職員や学生も参加する。